

お知らせ  
**法人名  
変更について**

「学 校法人福岡歯科学園」から「学校法人福岡学園」への法人名変更について、平成23年6月7日付けで文部科学省の認可を受けました。

これを機に、歯科医学教育をはじめ保健、福祉の発展に寄与する総合学園として、これまでの39年の歴史と伝統を踏まえて、更なる飛躍を目指し尽力する所存でございますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

学校法人 福岡学園

理事長 田中 健藏



国際交流



ブリテイッシュコロロンビア大学  
歯学部学生交換プログラムへの参加

世界の歯学生とともに  
最先端の臨床実習に参加。

2011年4月9日～4月24日の  
2週間、カナダ・バンクーバーの  
ブリテイッシュコロロンビア大学(UBC)

歯学部 Academic, Social and Cultural Program に福岡歯科大学から今回初めて参加しました(6年生・平野雄、宮園佳宏、児玉沙央理、津覇久美子、引率教員・松浦尚志(前半)、米田雅裕(後半))。UBC 歯学部は4年制で、学生は各学年50人ずつ、その内10人は外国人枠であり、国際交流の盛んな学部です。UBC 歯学部はすでに幾つもの外国の歯学部と交換プログラムの協定を結んでおり、オーストラリア、パキスタン、ナイジェリア、韓国の学生もこのプログラムに参加しました。学生は基本的にUBCの5年生(6年生になる直前)のプログラムに従い、診療、講義、実習に参加しました。プログラムの Director Ravindra Shah 先生で、渡航前の準備から現地でのプログラムの編成まで、心理的なサポートも含めていろいろとご尽力いただきました。このプログラムを通して非常にショッキングに感じたことは「Problem-based Learning」とcase presentationのレベルが非常に高いことで、教員の臨床レベルと卒前教育への意識レベルが高く、そのシステムも

優れています。日本の国家試験の臨床問題のレベルが非常に恥ずかしく思えるほどでした。

今後はUBCから  
福岡歯科大学への学生派遣も。

UBC側は来季から福岡歯科大学への学生派遣を真剣に考えており、その件についてShah先生と詳細に話をしました。2週間のプログラムでは学術的(Academic)な発見は期待できないかもしれないけれども、異なる教育環境、社会(Society)、文化(Culture)に触れることによって自分が以前の自分から何かしら良い方向に変わり(Transformation)、それが自分の将来にとって有益であると認識することがこのプログラムに臨むにあたって最も重要だろうという話になりました。たとえ日本の歯学教育が北米と比べて劣っていると見ても、異なった教育環境、社会、文化を体験することでUBCの学生もTransformされるでしょうし、またUBCの学生を受け入れることによって本学の学生および教員もまたTransformされるならば、積極的にこの交換プログラムを発展させていく意義が生まれてくるものと思えました。時間はかかるかもしれませんが、学生と教員にとって実質的に意味のある交換プログラムになることを願っています。

咬合修復学講座 冠橋義歯学分野 准教授 松浦尚志

Certificate授与式



Problem-based learningの様子